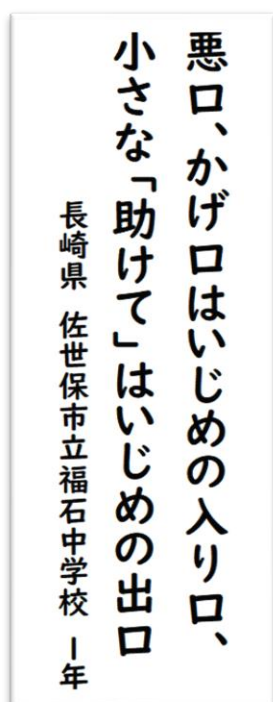


いじめの入り口

A 善悪の判断、自律、自由と責任 小学校 中・高学年



ねらい

重大だと感じにくい「いじめの入り口」も立派ないじめであることを知り、学級から「いじめの入り口」をなくしたいという気持ちを高める。

資料提示の工夫

「悪口」「かげ口」「小さな『助けて』」を空欄にして標語を提示し、「小さな『助けて』」の空欄部分には何が入るかを予想させる。その後、後半の空欄には「小さな『助けて』」が入ることを伝えて、発問1をする。

思考を促す
発問

- 発問1 前半の空欄には、どんな言葉が入るでしょう。
- 発問2 ※前半の空欄には、「悪口」「かげ口」が入ることを伝えて発問する。
「悪口」や「かげ口」は、いじめの「入り口」なんだから、そんなに気にしなくてもいいのではないのでしょうか。
- 発問3 この学級に「いじめの入り口」をつくらないために、あなたができそうなことはなんですか。

ポイント

発問1で、子どもたちから意見が出ない場合は、「いじめの入り口」をイメージできそうなイラストをいくつか提示する。子どもたちに「いじめの入り口」となる場面を数多く共有させることで、ひどいいじめに発展することを防ぐことができる。

出典： 第8回「いじめ防止標語コンテスト」受賞作品（2014）

クレジット： いじめ防止標語コンテスト実行委員会